

<持続創部浸潤麻酔用>

ペインクリニックセット

HAKKO DISPOSABLE PAINCLINIC SET 医療機器承認番号：20100BZZ00886000

ISO80369-6

(誤接続防止の新規格コネクタ)



特長

- カテーテルはしなやかで柔軟性があり、先端部の形状は円鈍となっておりますので、比較的安全にご使用いただけます。
- 創部または末梢神経近傍への局所麻酔薬の投与、または術後の持続的な疼痛管理に用いることができます。

hakko®

伝達麻酔用カテーテル 高度管理医療機器

心のかよう医療器ハッコー

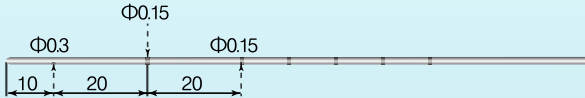
本製品は、一回限りで再度のご使用は行わないでください。
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

構成

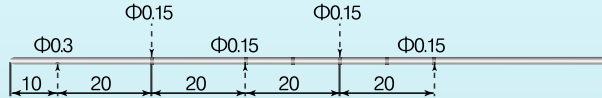
「多孔式カテーテル*、イントロデューサー針、フィルタ、リニアロックコネクタ」がセットになっています。

*)多孔式カテーテルの仕様は下図参照

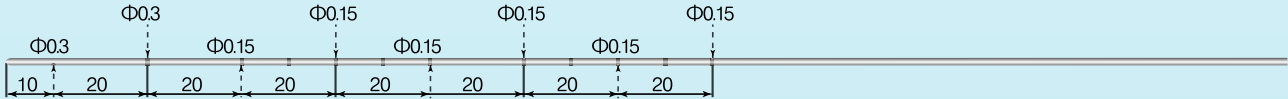
OGF17HR95-03h50 『Φ0.3×1孔、Φ0.15×2孔』



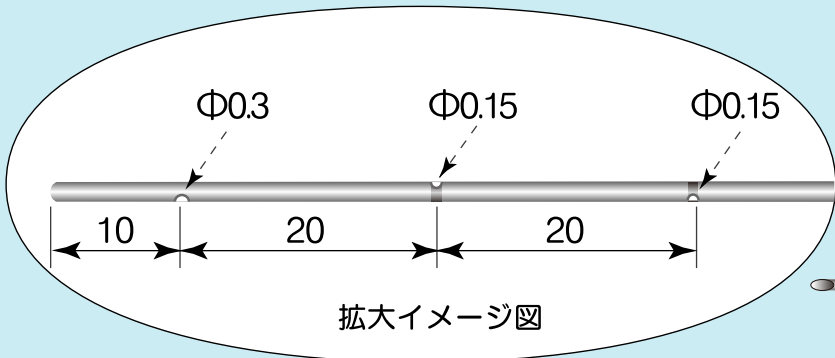
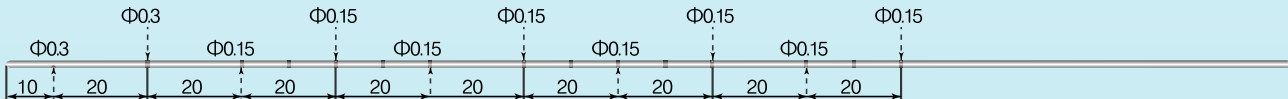
OGF17HR95-05h100 『Φ0.3×1孔、Φ0.15×4孔』



OGF17HR95-08h150 『Φ0.3×2孔、Φ0.15×6孔』

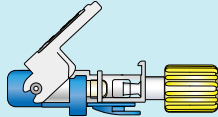
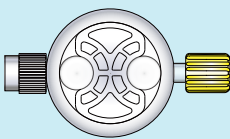


OGF17HR95-10h200 『Φ0.3×2孔、Φ0.15×8孔』

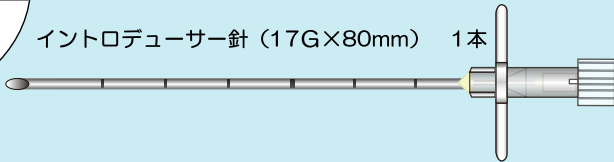


フィルタ 1個

リニアロックコネクタ 1個



イントロデューサー針 (17G×80mm) 1本



仕様				
製品コード	タイプ	型式	セット内容	包装形態
27430506	50mm	GF17HR95-03h50	■ イントロデューサー針：17G×80mm ■ カテーテル：Φ1.0×950mm HR サイドホール：3 ■ フィルタ (0.2μm) ■ リニアロックコネクタ	1箱10セット入 1セット毎 ブリストア包装 EOG滅菌済
27430516	100mm	GF17HR95-05h100	■ イントロデューサー針：17G×80mm ■ カテーテル：Φ1.0×950mm HR サイドホール：5 ■ フィルタ (0.2μm) ■ リニアロックコネクタ	
27430526	150mm	GF17HR95-08h150	■ イントロデューサー針：17G×80mm ■ カテーテル：Φ1.0×950mm HR サイドホール：8 ■ フィルタ (0.2μm) ■ リニアロックコネクタ	
27430536	200mm	GF17HR95-10h200	■ イントロデューサー針：17G×80mm ■ カテーテル：Φ1.0×950mm HR サイドホール：10 ■ フィルタ (0.2μm) ■ リニアロックコネクタ	

＜単品販売（カテーテル）＞

製品コード	タイプ	型式	側孔位置
27430446	50mm	17HR95-03h50	孔位置：先端より10mm 1孔、その後180度回転で20mm間隔 Φ0.15×2孔 孔径：Φ0.3mm×1孔、Φ0.15×2孔
27430466	100mm	17HR95-05h100	孔位置：先端より10mm 1孔、その後180度回転で20mm間隔 Φ0.15×4孔 孔径：Φ0.3mm×1孔、Φ0.15×4孔
27430476	150mm	17HR95-08h150	孔位置：先端より10・30mm Φ0.3mm、その後180度回転で20mm間隔 Φ0.15×6孔 孔径：Φ0.3mm×2孔、Φ0.15×6孔
27430486	200mm	17HR95-10h200	孔位置：先端より10・30mm Φ0.3mm、その後180度回転で20mm間隔 Φ0.15×8孔 孔径：Φ0.3mm×2孔、Φ0.15×8孔

包装形態

1箱10セット入、1セット毎ピールオープン包装、EOG滅菌済

本製品はISO80369-6対応製品ですので、従来のシリンジを接続することは出来ません。

<持続末梢神経ブロック用>

伝達麻酔用カテーテル
医療機器承認番号：20100BZZ00886000

ペインクリニックセット

HAKKO DISPOSABLE PAINCLINIC SET

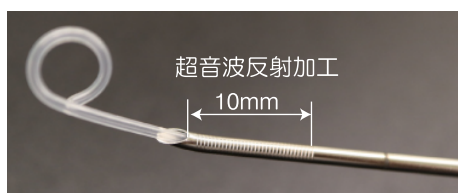


用途

末梢神経近傍へカテーテルを留置し、持続的に麻酔薬の注入

特長

- カテーテルはピッグテール形状を採用。組織間に留置されたカテーテルが前方への迷入、後方への自然抜去を防止します。
- カテーテル孔部位をピッグテール形状より近位のストレート部位に作製しているため、神経から離れた位置にピッグテール部分を留置することができ安全です。



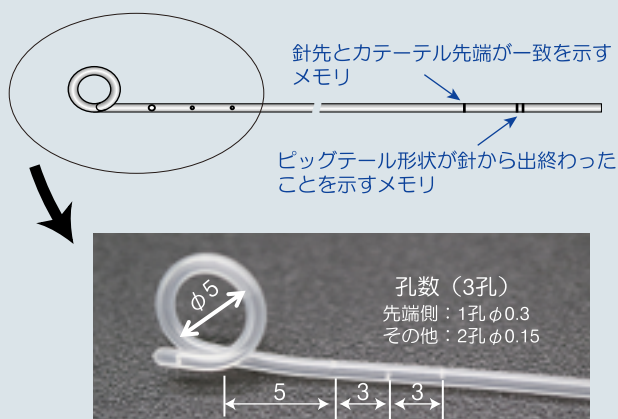
<参考資料>

Case Report

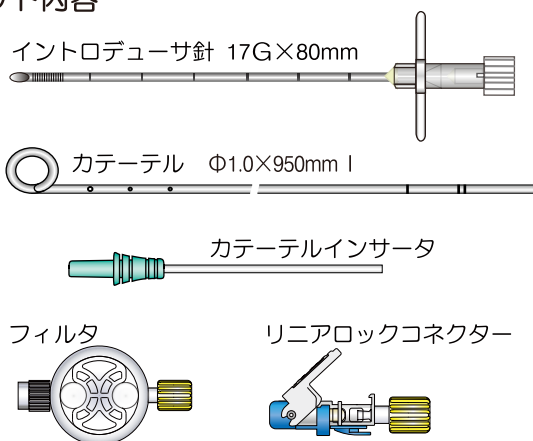
医療法人寺西報恩会 長吉総合病院 整形外科 清水 勇人先生
持続斜角筋間ブロックにおける新型カテーテルの有用性

QRコードスマートフォン等よりアクセス頂くと斜角筋間ブロックにおける「ピッグテールカテーテル」留置手技動画が閲覧できます

カテーテル拡大図



■セット内容



[2019年5月現在]

仕 様

製品コード	型式	セット内容	包装形態
27430546	HSタイプ GF17I95P5-03h40	■イントロデューサ針 17G×80mm ■カテーテル(ピッグテール形状) Φ1.0×950mm I ■カテーテルインサータ	1箱10セット入、 1セット毎ブリスター包装 EOG滅菌済
27430556	HSタイプ GF18I95P5-03h40	■イントロデューサ針 18G×80mm ■カテーテル(ピッグテール形状) Φ0.8×950mm I ■カテーテルインサータ	

ペインクリニックセット ピッグテールカテーテル

——“カテーテルインサータ”接続方法——

ペインクリニックセット ピッグテールカテーテル（以下カテーテル）に付属しているカテーテルインサータの接続方法は下記の通りとなります。

- ①カテーテル後端部より、カテーテルインサータ内にカテーテルを挿入します。

カテーテルインサータ（短針側）が挿入口です。

注意 カテーテルの向きとカテーテルインサータの向きを確認！

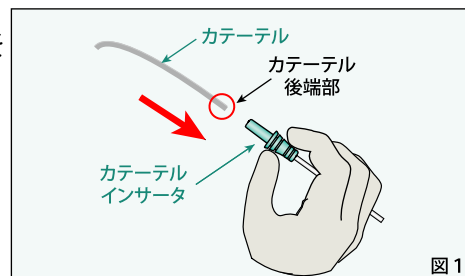


図1

- ②カテーテル（ピッグテール部）をすべてカテーテルインサータ内に収納します。

注意 カテーテルインサータ内へのカテーテルの挿入は、必ず使用直前に行ってください。

時間が経過するとピッグテール形状の復元力が低下するため。

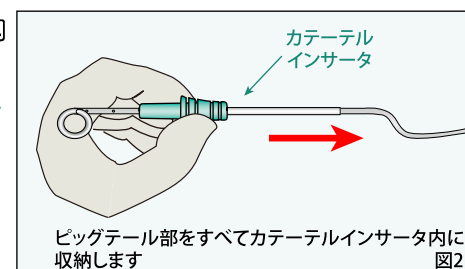


図2

- ③イントロデュサ針の内針を抜去した針基にカテーテルインサータを接続します。

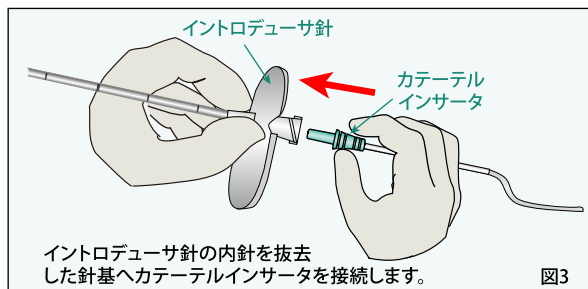


図3

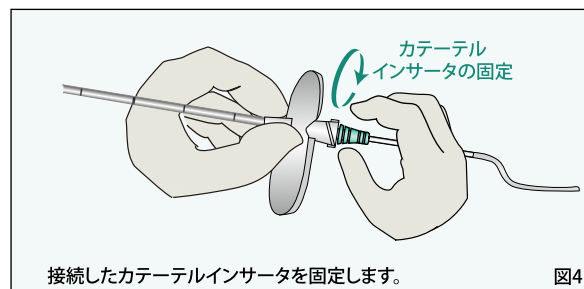


図4

- ④カテーテルを押し込みます。

1つ目のメモリ：イントロデュサ針にピッグテールカテーテルの先端が到達した時点を示すメモリ。

2つ目のメモリ：イントロデュサ針よりピッグテール部が全て出たことを示すメモリ。

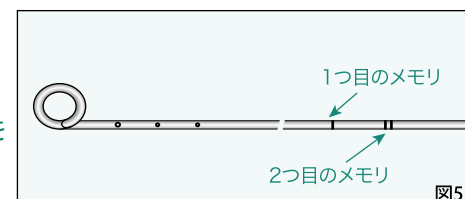


図5

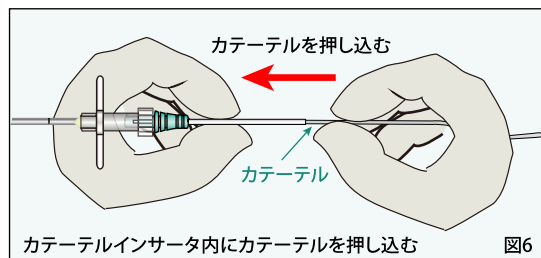


図6

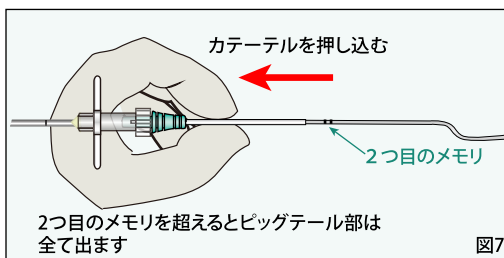


図7

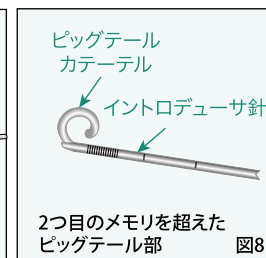


図8

POINT カテーテルインサータと針基の接続部でカテーテル先端が引っ掛かる場合には、カテーテルをねじり（回転）ながら挿入すると比較的スムーズに挿入できます。

- ⑤カテーテルを押さえ、カテーテルインサータとイントロデュサ針を抜去します。

- ⑥カテーテルにリニアロックコネクター及びフィルタを接続し、持続注入器と接続してください。

- ・本製品をご使用になる前に、必ず製品に添付されています医療機器添付文書をお読み下さい。
- ・医療機器添付文書には、製品の使用方法、使用上の注意などの重要な情報が記載されています。